

国産バイオジェット燃料搭載フライト搭乗記

1月28日のプレスリリースにてお知らせしました通り、日本航空株式会社（以下「JAL」）の主導する「10万着で飛ばそう！JALバイオジェット燃料フライト」プロジェクトにおいて、当社が国内企業等各社と連携して製造した国産バイオジェット燃料は、2月4日のJL319便（羽田空港発、福岡空港行き）に搭載され、無事に日本初の国産バイオジェット燃料フライトを完了いたしました。以下、このプロジェクトの成功に主要な役割を担った当社メンバーによる搭乗記をお伝えします。



飛び立つ JL319 便



一緒に搭乗した伊原 CEO

-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
関東地方に春一番が吹いた2月4日の午後、JL319便に搭乗しました。

この便には、当社がパートナー企業とともに製造した国産バイオジェット燃料が搭載されています。機内へ移動する際には、プロジェクトでお世話になった JAL のプロジェクトメンバーの方々が地上から手を振って機内に入るのを見送ってくれました。

機体がターミナルを離れ、滑走路で一時停止しているとき、「この便では、日本で初めて製造に成功した国産バイオジェット燃料を一部搭載しております。全国のお客さまにご協力頂き回収した衣料品の綿を原料にして製造しました。・・・」というアナウンスが流れました。

このアナウンスで、衣料品を提供して頂いた全国の子供たち・大人たち、そして製造に協力して下さった国内の大学、企業の皆さんに対する感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

フライト中、パートナー企業がある、名古屋、大阪、広島を通過する際に、一緒に取り組んでくださった皆さんにメッセージをお送りしました。皆さんからも、「よかったですね！」という言葉をいただき、本当に良かったと思いました。

皆さんと一緒に様々なトラブルを乗り越えて、無事にフライトを終えることが出来た喜びを噛みしめながら福岡空港に降り立ちました。

-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+

本フライトに関する情報は次をご覧ください。

http://gei.co.jp/ja/img/newsrelease/news_20210128.pdf

あらためて、JALのほか、お世話になった以下の皆さんにお礼を申し上げます。

- 公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）
- 日本環境設計株式会社
- 荒川化学工業株式会社
- 株式会社井上香料製造所
- 高圧化学工業株式会社
- ジャパンケミカルリサーチ株式会社
- 富山大学工学部 椿研究室
- 中川物産株式会社
- 日本リファイン株式会社



手を振ってくれた JAL の皆さん



機内から撮影した富士山と駿河湾

GEI は、これからも、地球環境問題の解決に貢献するための研究開発を進め、社会に実装することを目指します。